

2023 年度 ライフステージ別がんリハビリテーション習得

コース《医師対象》

コース詳細

コース名	ライフステージ別がんリハビリテーション習得コース《医師対象》
研究科等名	医学研究科
専攻名	リハビリテーション医学
養成(受入)人数	5名以内
期間(合計時間)	3か月コース(週1回水曜日(予定) 18時頃から2時間程度、Webもしくは対面でのレクチャー・カンファレンス)
研修の専門分野	リハビリテーション医学(がんのリハビリテーション)
受入開始時期	2023年10月頃 ※具体的な開催日程につきましては、二次審査(Web面接)後にお知らせ致します。
概要	<p>治癒を目指した治療から QOL を重視したケアまで、切れ目のない支援をするといった点で、我が国のがん医療はまだまだ不十分です。患者にとっては、がん自体に対する不安は当然大きいですが、がんの直接的影響や手術・化学療法・放射線治療などによる身体障害に対する不安も同じくらい大きいものです。がん治療の進歩とともに、障害の軽減、運動機能の低下や生活機能低下の改善、介護予防を目的としてリハビリテーション医療が、がん医療に果たす役割は益々大きくなることは疑いないでしょう。しかし、今日までがん医療の場面にリハビリテーション専門職がかかわることは希で、その臨床教育も十分になされていません。</p> <p>そこで本コースでは、実際ががんチーム医療の臨床や研究を実施する上での知識や技能を習得することを目標に、医師(がん医療に携わる医師、リハビリテーション医)を対象に、リハビリテーション医学全般および"がんのリハビリテーション"に関する講義(総論、各臓器別の各論、がんのリハビリのトピックス、緩和ケアのリハビリ)の受講および慶應義塾大学病院および協力施設においてがんのリハビリの実地修練を短期集中的に行うとともに、現在もしくはこれから実施予定の臨床研究に関して、リサーチクエスト設定、研究デザインの構築、実際の研究の進め方、論文作成方法などの指導を直接行います。</p> <p>3か月コースでは毎週1回のWebもしくは対面でのレクチャー・カンファレンスを予定しています(本年度は2週間コースは開講いたしません) ※具体的な開催日程につきましては、二次審査(Web面接)後にお知らせ致します。</p> <p>過去の実績は http://www.cancer-reha.com/ をご参照ください。</p>

コースの流れ	<p>(1)研究カンファレンス・抄読会 (2) 臨床研究サポート（個別対応） (3)慶應義塾大学病院および協力施設（がん専門医療機関）での研修 (4) がんプロリハビリテーションコース研究発表会への参加 (5)骨転移患者のリハビリテーションカンファレンス への参加 (6)その他、がんのリハビリ研修セミナーや各種講演会への参加</p>
---------------	--

担当教官	 <p>慶應義塾大学医学研究科 リハビリテーション医学 教授 辻 哲也 経歴： 1990年 慶應義塾大学医学部研修医(リハビリテーション科) 1992年 慶應義塾大学医学部助手(専修医)(リハビリテーション科) 1993年 国立病院機構東埼玉病院リハビリテーション科医員 1996年 埼玉県総合リハビリテーションセンター医員 2000年 英国ロンドン大学 国立神経研究所神経生理学部門リサーチフェロー 2002年 静岡県立静岡がんセンターリハビリテーション科 部長 2011年 慶應義塾大学医学部腫瘍センターリハビリテーション部門 部門長 2012年 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 准教授 2020年 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 教授</p>
-------------	--

募集要項	
応募資格	がん医療におけるリハビリテーションの重要性を理解し、熱意をもって本コースに取り組むことのできる医師
応募期間	2023年5月22日(月)～2023年7月17日(月)
選考方法	一次審査：本webでのエントリーシート審査 二次審査：一次審査合格者に対し Web 面接を実施します。
選考スケジュール	7月17日(月)： 応募〆切 ↓ 7月下旬： 一次審査結果通知（メールにてご連絡します。） ↓ 7月下旬～8月中旬： 二次審査（Web 面接） ↓ 8月下旬まで： 最終結果通知（メールにてご連絡します。） ↓ 10月～12月： 受講開始